

三重県高体連卓球部
令和8年 3月31日

各 高 等 学 校 長 様

三重県高等学校体育連盟卓球専門部
部 長 井 上 珠 美
[公印省略]

令和8年度第76回三重県高等学校総合体育大会卓球競技
兼 令和8年度全国総体兼東海総体卓球競技三重県予選会について(通知)

このことについて、下記要項によって開催いたしますのでふるってご参加ください。
新学期早々のことですので、新旧顧問の先生の事務引継ぎに留意され申込み手続き、登録
等に間違いのないようご注意ください。

記

主 催 三重県高等学校体育連盟、三重県教育委員会、三重県卓球協会
後 援 公益財団法人三重県スポーツ協会
主 管 三重県高等学校体育連盟卓球専門部

1 期 日

(1)令和8年	4月25日(土)	9:00~	男女ダブルス
(2)令和8年	5月 2日(土)	9:00~	男女シングルス
(3)令和8年	5月30日(土)	9:00~	男女学校対抗
	5月31日(日)	9:30~	男女学校対抗決勝リーグ

2 会 場

(1)(2)(3)とも
三交Gスポーツの杜伊勢(三重県営総合競技場)体育館
伊勢市宇治館町510 TEL(0596-22-0188)

3 競技種目

男女学校対抗 男女ダブルス 男女シングルス

4 競技日程

期 日	時 間	内 容	
4月25日(土)	9:00~	男女ダブルス	決勝までトーナメント 2・3位決定戦
5月 2日(土)	9:00~	男女シングルス	決勝までトーナメント ベスト8より順位決定戦
5月30日(土)	9:00~	男女学校対抗	ベスト4までトーナメント
5月31日(日)	9:30~		ベスト4リーグ戦

5 競技規則

- ①開催日現在の日本卓球ルールおよび三重県高体連卓球専門部出場規定を採用する。
- ②個人戦のアドバイザーのベンチ入りについては、下記の通りとする。
 - ・ダブルスのベスト4決定戦およびシングルススのベスト8決定戦から、1試合ごとにアドバイザーを認め、タイムアウト制も適用する。
 - ・アドバイザーの資格は、当該校の役職者(監督)および大会申込み時にエントリーされた当該校の選手(男女は別とする)に限る。
 - ・アドバイザーは、試合途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。
- ③役職者(監督)は日本卓球協会に登録完了の役職者(監督)に限る。
(注意)必ず事前に登録(振込完了含む)すること。
- ④学校対抗の合同チームは認めない。
- ⑤学校対抗は1回戦からタイムアウト制を適用する。
- ⑥**団体戦および個人戦の競技者は、アドバイスによって競技が遅れさえしなければ、ラリー中を除いていつでもベンチからアドバイスを受けることができる。**

6 競技方法

- ①全種目11本5ゲームスマッチとする。
試合球は VICTAS、Nittaku、バタフライのプラスチック球とする。
- ②男女ダブルスは決勝までトーナメントを行い、2位3位決定戦を行う。
 - ・トーナメントの決勝で敗退したペアと、準決勝で優勝ペアに敗退したペアが対戦する。
- ③男女シングルスは決勝までトーナメントを行い、3位から8位については順位決定戦③を行う。
 - ・ベスト8以降の試合方式については、次頁に示す。
- ④男女学校対抗(団体戦)は次の方法で行う。
 - ・男女ともベスト4までトーナメント戦で選出し、その後4チームによるリーグ戦により順位を決定する。
 - ・登録選手は4～10名とする。

試合順序	1	2	3	4	5
試合種別	S	S	D	S	S

- ・勝敗は4～6名による1ダブルス・4シングルススの5試合3点先取で決める。
- ・3番のD(ダブルス)は1・2番のS(シングルス)に出場した選手同士で組めない。
なお、S(シングルス)はすべて異なる選手とする。

【トーナメント戦の場合】

- ・4番シングルスと5番シングルスが同時に試合しているとき、5番シングルスが先に終了し、チーム勝負が決した場合は、4番シングルスの試合を途中で止め、試合を終了する。ただし、ダブルスは最後まで行うこと。スコアを3-1とし、途中までのスコアを記載し「打ち切り」と表記する。

【リーグ戦の場合】

- ・4番シングルスと5番シングルスが同時に試合しているとき、5番シングルスが先に終了し、チーム勝負が決した場合でも、4番シングルスの試合を途中で止めずに、最後まで行うこと。

7 引率・役職者(監督)

①引率責任者は、下記の通りとする。

- ・校長の認める当該校職員(校長から委嘱された「部活動指導員」含む)とする。
- ・「部活動指導員」は、三重県高等学校体育連盟会長に届け出ること。

②役職者(監督)は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

補足:外部指導者が監督になるために必要な手続きは下記を参照すること。

- ・年度当初の「卓球部顧問の先生へ」(HPにもアップ済み)
- ・「連絡事項 1 外部指導者が監督になるための手続き」

8 学校対抗の監督および選手変更について

学校対抗の申込み後に、変更の必要性が生じた場合、

①監督および選手変更が必要となる事由が発生した時点で、すぐに支部長に連絡する。

以下の手順と条件を満たせば、変更を認めることができる。

②監督および選手の変更届を作成し、事前に支部長に提出する(PDF可)。

無理な場合は、大会当日の開会式前までには受付にて専門委員長に提出する。

③監督および選手は、日本卓球協会の登録(振込含む)を完了していること。

④病気等の場合は、診断書を添付すること。

⑤監督の大会途中での変更は認めない。

⑥学校対抗の選手変更は、チームの人数が4名を下回る場合のみ認める。

上記条件を満たすことが難しい場合については、変更の可否を本部で判断する。

9 参加資格

- ①三重県高体連加盟校にて、三重県高体連卓球専門部出場規定に違反しない生徒であること。
 - ②令和8年度日本卓球協会に登録完了の生徒であること。
 - ③ダブルス・シングルスにおいては各地区予選通過者および地区予選免除者。
- ※各地区予選の要項は地区支部長より後日送信する。

	男子	女子
北勢	24	24
中勢	16	16
南勢	16	12
合計	56	52

	男子	女子
北勢	32	32
中勢	24	24
南勢	24	24
合計	80	80

- ダブルス地区予選予選免除対象ペア(上記通過枠外で県予選会に出場できる)

※以下の大会で昨年度ベスト4入賞のペア

- ・三重県高等学校卓球選手権大会
- ・全日本卓球選手権大会三重県予選会
- ・三重県卓球選手権大会

※地区予選組合せ会議時の高校1～3年生ポイント上位16名の選手が含まれるペア

- ・上位16名のうちで出場しない選手がいる場合は繰り上げ

※詳細は三重県高体連卓球専門部HP「ジュニアポイントの説明」参照。

※ただし、地区予選申込がなければ県大会への上場意志がないものとして扱う。

男 子	女 子
佐藤・杉下(白子)	三輪・大仲(白子)
伊藤・吹原(白子)	富田・松島(白子)
松生・谷(高田)	川合・御村(高田)
水野・下地(津)	別所・稲生(高田)

- シングルス地区予選免除対象選手(上記通過枠外で県予選会に出場できる)

※地区予選組合せ会議時の高校1～3年生ポイント上位16名の選手

- ・上位16名のうちで出場しない選手がいる場合は繰り上げ

※ただし、地区予選申込がなければ県大会への上場意志がないものとして扱う。

10 申込方法

【地区予選(S:シングルス・D:ダブルス)】

※地区予選要項は後日地区支部長より各校代表顧問に送信される。

①日本卓球協会の選手登録(振込含む)をする。

②「■R8登録&申込(〇〇高)(sheet7, 8)」に必要事項を入力し、そのExcelファイルを支部長に送信する。

③入力完了の②を印刷し、校長印を押印後、それをPDFで支部長に送信する。

※①×切: 4月20日(月)10:00

※②③×切: 地区予選要項および年間事業計画参照

※外部指導者の必要手続き

地区予選通過後の県総体Dでのアドバイザー希望者は、以下の手順を踏むこと。

A:顧問を通じて外部指導者の提出書類(本要項7. ②と補足参照)を作成する。

B:作成した提出書類をPDFで、顧問が支部長に送信する。

※A・B①②×切: 4月24日(金)10:00

地区予選通過後の県総体Dでのアドバイザー希望者は、以下の手順を踏むこと。

C:顧問を通じて外部指導者の提出書類(本要項7. ②と補足参照)を作成する。

D:作成した提出書類をPDFで、顧問が支部長に送信する。

※C・D×切: 5月 1日(金)10:00

【学校対抗】

①顧問総会出欠および県総体団体戦出場有無確認の用紙に必要事項を入力し、それを支部長に送信する。

②団体登録料を振り込む。

③日本卓球協会の選手登録、役職者(監督)登録(振込含む)をする(既登録分は除く)。

④「■R8登録&申込(〇〇高)(sheet9)」に必要事項を入力し、そのExcelファイルを支部長に送信する。

(sheet9の監督欄は2日間通してベンチに入れる者とする。)

⑤入力完了の④を印刷し、校長印を押印後、それをPDFで支部長に送信する。

※①×切: 4月17日(金)10:00

※②③④⑤×切: 5月25日(月)10:00

※外部指導者の必要手続き

学校対抗の監督希望者は、以下の手順を踏むこと。

E:顧問を通じて外部指導者の提出書類(本要項7. ②と補足参照)を作成する。

F:作成した提出書類をPDFで、顧問が支部長に送信する。

※E・F×切: 5月25日(月)10:00

補足:日本卓球協会への登録完了が確認できない場合、当日試合会場にいても、県大会への選手の試合出場も、監督やアドバイザーのベンチ入りも認められない。

各試合申込みメール送信先(地区支部長一覧)

北勢	今枝 治	四日市南高校	imaeda.o@mxs.mie-c.ed.jp
中勢	宇仁田 慎司	高田高校	tyuuseisibu2013takkyuu@yahoo.co.jp
南勢	山本 智紀	松阪商業高校	yamamoto.tomonori@mxs.mie-c.ed.jp

11 連絡事項

【全種目】

- ①開館8:00、練習開始8:00、受付8:15～8:40、開会9:00予定。
棄権がある場合は受付にて男女別に各チーム代表者が申し出ること。
※開館は、会場準備のために早まることがあります。
- ②役職者(監督)はベンチ入りの際、日本卓球協会発行の役職者章をつけること。
(後日配付予定)
- ③組合せ表は配布しないので、HPからダウンロードすること。
- ④今年度の全国総体および東海総体は下記日程で実施される。
(全国総体8月12日～大阪府大阪市 大阪市中央体育館)
(東海総体6月27日～愛知県刈谷市 ウイングアリーナ刈谷)
- ⑤駐車場連絡、その他追加連絡の確認方法について
 - ・各支部長より各校に送信するメール
 - ・三重県高体連卓球専門部HP

(HPについては、当日も含めて必ずご確認ください。)

【シングルス・ダブルス】

- ①シングルスで出場選手が1名のみ、ダブルスで出場ペアが1組のみの場合は、出場選手とは異なる審判要員を1名追加で派遣すること。
- ②前年度優勝校(男女別SD)は、優勝カップを持参すること。

	男子	女子
ダブルス	白子	白子
シングルス	白子	白子
- ③男女ともダブルス1～2位、シングルス1～4位は全国総体へ出場する。
男女ともダブルス1～4位、シングルス1～8位は東海総体へ出場する。
- ④ダブルスのベスト4入賞ペアは、同年度三重県高校卓球選手権大会のシード権を獲得する
(詳細は三重県高体連卓球専門部HPの「ジュニアポイント説明」参照してください。)

【学校対抗】

- ①組合せ抽選会(顧問総会)は5月7日(木)に実施する。
 - ・抽選は各校代表(生徒あるいは顧問)が行う。
 - ・各校代表不在の場合は、支部長が代理で抽選する。
- ②試合進行状況に応じて2台並行で行う。
- ③県総体学校対抗は東海総体および全国総体の県予選を兼ねる。
- ④前年度優勝校(男女別)は、優勝旗と優勝カップを持参すること。

	男子	女子
学校対抗	白子	白子
- ⑤男女とも1位が全国総体へ、1位～4位が東海総体へ出場する。